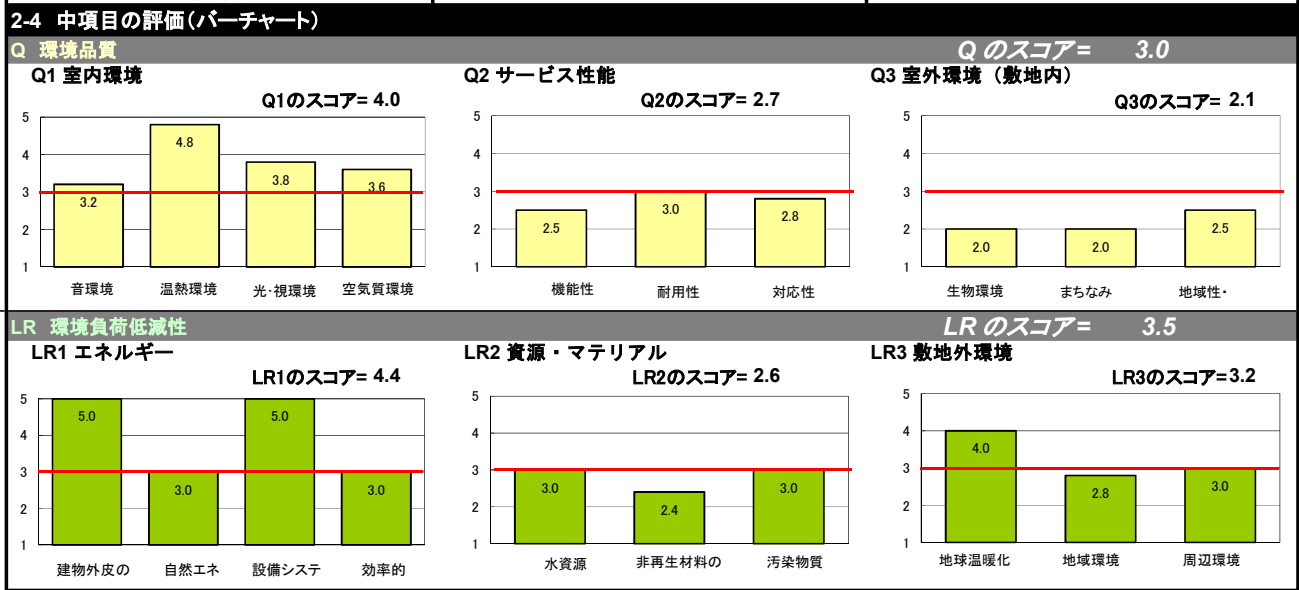
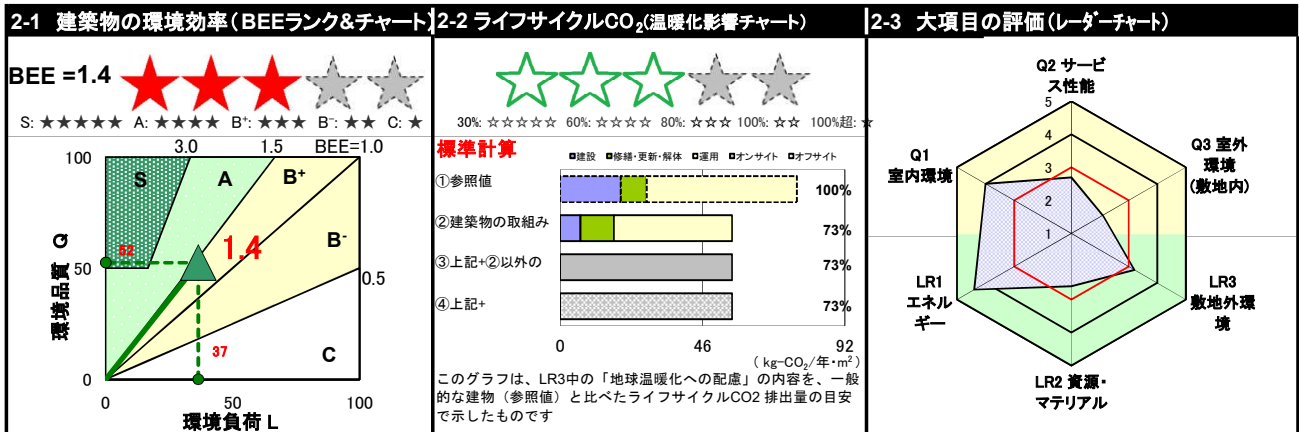


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)相模原市南区文京一丁目共同住宅新築工事	階数	地上15F
建設地	神奈川県相模原市南区文京一丁目749-5	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、第一種住居地域 準防火地域	平均居住人員	700人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年4月 予定	評価の実施日	2024年2月5日
敷地面積	6,163 m ²	作成者	株式会社アーキフォルム 一級建築士事務所
建築面積	1,602 m ²	確認日	2024年2月5日
延床面積	13,061 m ²	確認者	株式会社アーキフォルム 一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項

総合	その他
計画地周辺は住宅地であるので、アースカラーを基調とした外壁色とし、周辺地域の落ち着いた雰囲気と調和する建物になるよう配慮した。	-
Q1 室内環境 住宅部分について、断熱等性能等級4を超える性能としている。F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用するなど、室内環境の向上に努めている。	Q2 サービス性能 住宅性能評価における劣化対策等級3とし、空調・給排水配管の更新対策にも配慮した設計としている。
LR1 エネルギー 断熱等性能等級4を超える性能、BEI=0.73としている。	LR2 資源・マテリアル -
	Q3 室外環境(敷地内) -
	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出率73%としている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される